

令和8年度 摂津市立味生小学校 グランドデザイン

～あたたかい心とことばのあふれる学校～



【柱1】組織運営・人材育成

●安心して児童と向き合える

職場環境の構築

声をかけ合い、助け合う文化を定着させ、教職員の自己肯定感と当事者意識を向上させます。

●「対話」を軸とした

人権教育・研修

グループ研究テーマの設定や指導のねらいの統一を通じて、教職員の専門性を高めます。

●教職員の意識統一

目標41.4%

「教職員は、教育課題を共通認識し、心をひとつにして取り組んでいる」の強い肯定回答を現状の36.4%から引き上げます。



【柱2】生きる力を育む教育活動

●自他受容を進め、違いを認め合える人間関係の構築
語彙を増やし、自分の気持ちを適切に相手に伝える力を育みます。

●「対話」を軸とした学習活動

日々の授業において、児童同士の意見交流などの言語活動を充実させます。

●自己調整力を高める習慣の定着

目標や評価基準を明確にし、児童自らが学習計画を立てる経験を積ませます。

学校教育目標
あたたかい心とことばの
あふれる学校

【柱3】地域連携・渉外

●お互いの顔が見える関係性の構築

地域の中で児童を「ほめる・叱る」を躊躇なく行えるような、深い信頼関係をめざします。

●協力して児童を育てる意識の確立

学校運営協議会を通じて現状と課題を共有し、学校・保護者・地域が協働する体制を整えます。



めざす学校像

①子どもの笑顔があふれ、いきいきと学ぶ姿のある学校



児童が主体となり、活発に学習に取り組む環境をめざします。

②チームで歩む学校



教職員が協働し、組織として教育課題に対応します。

③保護者・地域とともに子どもを育てる学校



家庭や地域社会と手を取り合い、社会全体で児童の成長を支えます。

【重要指標】5ポイント上昇をめざす具体的数値

5ポイント
上昇



教職員：教育課題を共通認識し、心をひとつにしている
学校の方向性を全スタッフが共有できている状態をめざします。



児童：授業で自分の考えをまとめたり、発表したりしている
一人ひとりが学習に主体的に参加している状態をめざします。



児童：話し合いで相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えている
「対話」の質を高め、相互理解を深める力を育みます。



児童：先生は努力したとき、ほめたり認めたりしてくれる
自己肯定感を育む、教職員からの適切なフィードバックの充実を図ります。

(イラストはNotebookLMで生成)